

## 組合基本方針 ◎組合の団結と調和

# 新年のご挨拶

流山工業団地協同組合 理事長 高橋 啓治



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、健やかに恙無く新年をお迎えの事と存じます。日頃は、組合運営にご協力を賜り心から御礼申し上げます。

昨年を振り返って見ますと、政治、経済、産業、一般社会と多方面に渡り色々な事がありました。皆様方は如何でしたでしょうか。

2月には、天皇陛下の手術があり無事退院され公務に復帰出来たことは本当に安堵いたしました。

5月には、世界一高い東京スカイツリーが完成しました。皆様は、もう登られましたか。工業団地からも、夜にはライトアップされたスカイツリーが幻想的に望めます。

7月には、ロンドンオリンピックが開催され、日本の選手達の活躍が素晴らしかった事は、真に天晴れでした。

10月には 山中伸弥京大教授がノーベル医学生理学賞に輝きました。日本人の誇りであり、又あの謙虚な姿は見習うべき人柄、人格ではないでしょうか。

又、一方産業界ではパナソニック、シャープの赤字、下方修正が相次ぎ、多量のリストラがあり、他人事ながら数々の中小企業に悪影響はないのか些か心配です。

外交的には、尖閣諸島問題、竹島の件と隣国の関係はどう進展していくのか、我々中小企業にどのような影響を及ぼすのか非常に心配の種でございます。又、経済面においては、ここ近年失われた 20 年と言われ続け、円高、株安、デフレ、消費の低迷等が長期化しており、私共中小企業は厳しい経営環境が続くものと覚悟していたところです。昨年末行なわれた衆議院選で自民党が圧勝、自公連立政権が 3 年半ぶりに交代し、安倍総裁の金融緩和の発言により早々と円安、株高に転じ、日本経済は良い方向に流れ始めるのでしょうか。心配しつつも、期待も大とするところであります。

しかしながら、我々企業は何時如何なる場合においても自助努力こそが最善の策ではないでしょうか。「利は元に有り」と申します。常に改良、改善を行い、そして私共組合員同志は、運命協同体の下に更なる団結を強固にし、地域経済の発展に貢献できる様、全組合員が力を合わせて頑張っていきたいと思っております。それでは、本年も組合活動にご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げますと共に、今年 1 年の安泰と繁栄をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

●年度方針● 組合基幹事業の策定  
後継者の育成  
経営革新に取組み発展基盤を強化

# 新年のご挨拶



流山市長 井崎 義治

新年あけましておめでとうございます。

流山工業団地協同組合の皆様には、輝かしい新年を穏やかに迎えのことに心からお慶び申し上げます。また日頃より市政各般にわたり格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年は、東日本大震災に端を発した放射能問題がクローズアップされ、本市でも除染作業といった思わぬ事態に翻弄された激動の1年となりました。

経済界に目を移すと、昨年末からようやく記録的な円高がやや修正され、景気回復の兆しが見えつつありますが、中小企業を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いています。流山工業団地協同組合の皆様には、このような情状の中、積極的な企業経営に取り組まれておられますことに心から敬意を表します。

新年を迎え貴組合では、「組合基幹事業について」、「後継者の育成」、「経営革新に取組み発展基盤を強化」という年度方針を定められているとのことですが、目標達成に向けた事業展開に大いに期待をしているところです。

今年は本市の後期基本計画中期実施計画がスタートする年でもあり、市では住みよく快適なまちの実現と「市民に役立つ行政」に向けて邁進するとともに、国、県、流山商工会議所と連携しながら、流山工業団地協同組合とも一体となり、商工業の活性化、活力あるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

結びに、流山工業団地協同組合のますますの発展と会員の皆様のご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



流山商工会議所 会頭 池森 政治

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様にはお健やかに新年をお迎えの事と存じます。平素より地域経済発展の為、多大なるご理解ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

東日本大震災を契機としてエネルギー供給制約や急激な円高など新たな課題が発生し、立地環境の6重苦（円高・人件費高・電力、エネルギー・税制・取引先の海外移転・人口の減少）の中で産業の空洞化と国内雇用の喪失が懸念され、さらに中長期的には人口減少や少子高齢化によって我が国の潜在成長力が低下し、かつてのような高成長の実現は困難となることも想定されます。

この様な中、会議所も移行後3年を経過しようとしています。この3年間は、平成25年度4月以降の会議所運営の為、移行メリットの礎の構築期間として運営に努めて参りました。しかしながらこの様な厳しい経済環境下で或る事も含め一進一退の感が否めません。どうか会員の皆様方には旧年にもましてご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、貴組合におかれましては、工場等集団化資金（建物）の償還終了に伴う集団化組合結束の為、再売買予約契約を締結するなど組合運営の基本に立脚され運営されております。どうか永年の経験を生かされ運営につきまして尚一層結束を図られ流山経済界のリーダーたらんことを希望してやみません。

本年も貴組合の一層の飛躍の年でありますと共に、会員皆様方にとりまして最良の年でありますようご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 組合 望年会 開催

12月12日に毎年恒例であります、流山工業団地協同組合の望年会が割烹せきやにて開かれました。昨年は、エネルギー問題や円高など製造業にとりまして非常に影響を及ぼす先の見えない浮き沈みの激しい年でしたが、組合員が一同にして年の締めくくりができることがありがたく、みな前向きな会話でおいしい料理とおいしいお酒を満喫し、楽しいひとときを過ごせましたことに、心より感謝の気持ちでいっぱいであり、和気藹々とした和やかな、来年はもっと良い年になりたいという希望にあふれた望年会となりました。



工業団地の仲間は本当に素晴らしい！

感謝！感謝！感謝！！

(株)スイコー 小溝 剛

# 青年部 望年会 開催

去る12月19日柏にて、恒例の青年部忘年会を開催しました。今年も参加率が高く、仕事でやむなく参加できなかった東本さんを除く6名が参加でき、さらにはOBとして、大塚社長と伊東社長にご出席いただきました。

今年は皆の日程の関係もあり、懇親会からのスタートであったため、最初から難しい話などは抜きに会は進み、あまり世相の話や、現状の情勢の話などは出ませんでした。皆の姿を見るに、各々着実に事業を展開し、世の不況感など笑い飛ばすかのような元気に溢れており、とても心強くありました。

先の選挙では、また大きく議席が移動し、政権与党が交代しました。時を同じく株価の上昇や円安も進んでおります。円安に関しては、中小零細企業にとり、どれほどプラスになるのか不透明なところもありますが、株価の上昇と合わせて、大手輸出企業にとっては間違いなく追い風になることと思われま。

日本は何にしても、大手輸出企業が経済の流れを作っているの、良き経済の流れが生まれ、日本に活力が戻り、巳の年が身になる年となりますことを祈りつつ、精進してまいりたいと存じます。



(有)長浦製作所 長浦 謙太郎

## ゴルフコンペ優勝者

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、公私ともに心温まるご厚情を頂き誠にありがとうございました。11月10日に開催されました組合ゴルフコンペにおきましては、澄み切った秋空の下、素晴らしいメンバーに恵まれ、楽しいひと時を過ごさせていただきました。また、一年の締めくくりとして最高の栄誉を頂き、感謝・感謝の一言です。

懇親会におきましても、交通渋滞というトラブルに見舞われましたが、

その分、多くの時間を組合の皆さまと共有でき、絆の大切さを教えていただきました。今後とも、こうした会には出来る限り参加し、皆さまとの親交をさらに深めてまいりたいと存じます。本年も、何卒ご指導の程、宜しくお願い致します。

サンコーテクノ(株) 洞下 英人



## 組合功労者表彰

11月30日(金)に開催されました、工場等集団化事業50周年記念式典(全国工場団地協同組合連合会主催)におきまして、当組合 熊本理事が独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長より組合功労者として表彰されました。

## 外国人実習生来日

中国上海市より中国人実習生4名が、11月19日2名、12月12日2名来日し、1ヶ月間の集合研修を終え、企業に配属されました。

これから3年間無事に実習が終わるように、指導をしていきます。



## 事務局だより

1月 8日 (火) 三役による新年挨拶回り 関係先11軒  
2月26日 (火) 献血

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

2012年もあっという間に過ぎて行きましたが、正月の静かな冷気を肌で感じますと今年も新たに頑張ろうという気持ちになります。

今年の干支は巳であります。巳という字は蛇が冬眠から覚めて地上にはい出す姿を表しているとも言われ、「起こる、始まる、定まる」などの意味がある

そうです。政権交代もあり停滞していた事が動き出すのではとの期待を持ち、明るく前向きな1年を過ごせればと思っております。皆様に幸多き一年になることを祈念しております。

熊本 匡史

流山工業団地協同組合

編集・発行：青年部

〒270-0107 流山市西深井1028-46

電話 04 (7153) 3001